

昨秋は、本学において、「日本仏教学会」の學術大会が開かれ、又引き続き「日蓮宗教学研究大会」も開催されました。本号ではその折りの、教学大会の紀要を収めました。特別発表の「教団論」については、大いに注目すべきものがあると思います。

三氏の所論を参考とし、更にわが教団の在り方について考えてみることも大切だと言えましょう。

二つの學術大会の開催当番校として、無事盛会のうちにそれぞれ成果を挙げることができました。

本誌もこの程、「學術刊行物」の指定を受けました。会員も号を追うことに増加いたしております。

宗祖降誕七五〇年を期して、本誌がますます発展いたしますよう会員各位のご支援を切にお願い致します。

(上田・記)

棲 神 第四十三号

昭和四十六年二月十日 印刷
昭和四十六年二月十六日 發行

編集者 里 見 泰 穩

発行者 室 住 一 妙

印刷者 宮 田 如 龍

甲府市中央二丁目十二—三十一

印刷所 大 宣 堂 印 刷

山梨県身延山東谷

(〒NO、四〇九—二五)

發行所 身延山短期大学学会

振替(甲府) 一二七五番
電話身延(三五六) 二一〇一〇七